

定期的に水道メーターを確認しましょう

- 水道を使っていない状態で、水道メーターの文字盤（写真参照）にあるパイロット（銀色の円盤）が回転していれば漏水の可能性がありますので、その際は町の指定水道工事店に修理を依頼してください。（修理費用はお客様負担となります。）
- 漏水の早期発見のため定期的にメーターのパイロットや指針の確認をお願いします。

「水抜きバルブ」による水道管の水抜きが効果的です

- 家を留守にする場合や寒さが厳しい夜の就寝前などには、水抜きバルブを操作して水道管内の水を抜くようにしましょう。
- 水抜きをした後は、必ず水道メーターのパイロットを確認してください。水抜きバルブの故障により、操作すると漏水する場合があります。

メーターボックス内も保温しましょう。

- メーターボックス内は空洞になっていて、水道管がむき出しの状態になっています。ボックス内のメーターや水道管を緩衝材などで巻いて保護しましょう。発泡スチロールや布切れなどをビニール袋に詰めたものでも代用できます。
- ボックス内に水が入らないようにしっかりと蓋を閉めてください。

漏水により水道料金が高額になった場合には

お客さまが適正な管理をしても発見することが困難な地下漏水につきましても、料金の一部を減免する制度があります。

ただし、減免を受けるためには、漏水箇所の修理を町の指定水道工事店が行うことなどの条件があります。詳しくは水道課までお問合せください。

☎ 水道課 庶務担当
☎ 292-3002



水道管の冬支度をしましょう

冬を迎え気温が氷点下になると水道管が凍結することがあります。夜間や長期間留守にする場合は、特に注意が必要です。早めの点検をお願いします。

水道管の凍結を防ぐには

水道管の露出部分には、凍結防止のための保温材などで直接外気に触れないように保護しましょう。

- 保温材に破れや損傷がないか確認します。もし損傷箇所等があれば、そこから凍結する危険度が高くなりますので、必ず補修を行ってください。
- 凍結防止用ヒーターが巻かれている場合は、寒くなる前にコンセントがしっかりと差し込まれているか確認してください。
- 屋外の蛇口や立ち上がり管は、積雪や落雪での破損を防ぐため、囲いなどの防護をしてください。



水道管が凍結して水が出ない時は

水道管や蛇口などの凍結している部分にタオルや布をかぶせ、ぬるま湯をゆっくりかけて徐々に解かしましょう。

※熱湯はかけないでください。破裂、ひび割れの原因になります。

もしも水道管が破裂してしまったら、水抜きバルブを閉めて水を止め、町の指定水道工事店に修理を依頼してください。

給水装置の修理を依頼するときは、次の点にご注意ください

- 知り合いの水道工事店があるときは、「越生町の指定水道工事店」かどうかをご確認ください。（指定を受けていない事業者は、町内では水道管などの工事はできません。）
- 工事の内容や費用について、十分な説明を受けてください。

※町の指定水道工事店がどうか分からないときは、水道課へお問合せください。

※私有地に設置された給水装置は、設置者にその管理責任があるため、修理費用は設置者の負担となります。

※地上部分での凍結に起因する漏水は、原則として漏水減免の対象にはなりません。

有料広告を利用しませんか

広報おごせ

1 枠（この記事の半分の大きさ）

5,000円

2 枠（この記事と同じ大きさ）

7,000円



問い合わせ

総務課 地域支援・防災安全担当 ☎内線 217

越生町ホームページ

1 枠月額 8,000円

縦60ピクセル、横150ピクセル
10KB以内、GIF形式



公式SNSフォローお願いします👍

越生町の最新情報をいち早くお届けします。ぜひご登録ください。



LINE
QRコードを読み取り
お友達追加をお願いします。



X
QRコードを読み取り
フォローをお願いします。



Instagram
QRコードを読み取り
フォローをお願いします。